

特集 平成20年度市の予算と主な取り組み

基金及び市債残高の状況

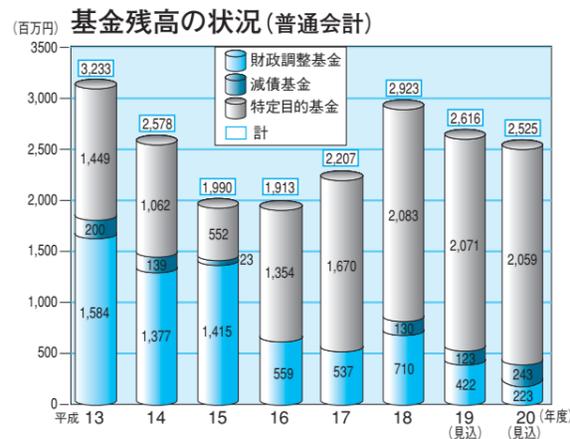
財政健全化を図るためにさまざまな取り組みを行った結果、中期財政見通しでは8億円超であった財源不足は約2億円に圧縮され、この財源不足を財政調整基金からの取り崩しで対応しました。このため、合併後3年間続いた特定目的基金からの借り入れによる非常手段の予算編成は回避されましたが、当初予算編成後の財政調整基金残高は約2億2千万円となり、災害など突発的な財政支出に対応可能かどうか不安な要素を抱えています。

一方、普通会計の市債残高見込

額は約17.1億6,400万円で、前年度と比べて約7億5,100万円減少し、平成17年度を下回る見込みとなっています。これは、公債費負担適正化計画に沿った市債発行額の抑制による効果であり、今後も市債発行総額が元金償還額を下回るよう抑制する方針です。

平成20年度予算の特徴 合併に伴う主な施策

総合計画や新市建設計画に基づきながら、将来の公債費負担など財政状況をかんがみ、緊急性・優先度を十分検討し推進していきます。



用語説明

●市の会計

市の会計は基本的な経費を管理する一般会計と、下水道や国民健康保険など特定の事業を管理する特別会計、病院事業や水道事業を管理する事業会計から成り立っています。

ただし、市の財政状況を見る場合は、一般行政部門に関する「普通会計」と、病院事業や水道事業などに関する「公営企業会計」とに区別するのが一般的です。

本市の「普通会計」は、一般会計・住宅新築資金等貸付事業特別会計・公共用地先行取得事業特別会計を指します。

●地方交付税

地方が全国の一定の水準で行政運営ができるよう国から交付されるもので、一定の計算で金額が決まる普通交付税と、災害などの特殊な事情に応じて金額が決まる特別交付税があります。

●臨時財政対策債

地方交付税の削減による地方

し、老朽化の著しい牛窓図書館を牛窓町公民館図書室として移転整備するもので、平成20年度に設計を行い、平成21年度に整備工事を行う計画です。

住環境・都市基盤の整備、産業の振興

下水道施設の整備、生活道路の整備など住環境や都市基盤の整備を進めます。また、農業用施設や林道の整備、それぞれの特色を生かしたイベントを行うなど産業の振興を図ります。

【主な事業と予算額】

公共下水道施設整備事業

24億9,229万円

牛窓処理区では、一部地域で供用開始となり、引き続き管渠工事を進めます。

邑久処理区・長船中央処理区では、管渠や浄化センターの工事を引き続き行います。

邑久処理区は平成20年度末には、一部地域で供用開始する予定です。虫明処理区では、今年度内に認可申請する予定です。

農業集落排水施設整備事業

7億8,147万円

邑久町尻海地区と長船町美和・牛文地区で、平成21年度末の供用開始を目指し、引き続き整備を進めます。

長船町美和・牛文地区では、浄化センターの建設に着手します。

浄化槽設置整備事業 3,785万円

下水道認可区域外の地区の環境を改善するため、浄化槽などを設置する人に補助金を支給します。

市道改良舗装事業

1億6,547万円

市道長船線のほか、生活道路をはじめ市道の改良や舗装修繕工事などを行います。

農業用施設整備事業

1億5,510万円

東南地用排水の環境整備のほか、土地改良やため池補強、ほ場整備事業などを行います。

水産業・林業施設整備事業

7,284万円

林道西谷牛文線の排水改良工事のほか、漁港や漁場の整備などを行います。

イベント開催事業

1,525万円

す。これらの事業は、財政的に有利な合併特例債や過疎対策債などを活用しています。

【主な事業と予算額】

市道南北線新設事業

2億7,751万円

平成18年度から22年度にかけて、地域連携軸として市道南北線を新たに整備します。

美術館等整備事業

1,338万円

牛窓庁舎の空きスペースを有効活用し、名誉市民の故佐竹徳画伯から寄贈された作品を核として、郷土にゆかりのある美術、芸術作品を中心に展示する美術館を整備



幻想的な光が美しいバルーンイリュージョン

少子・高齢化対策、障害福祉の増進、健康づくりの推進

心と体の健康づくりの推進や少子化対策として子育て支援機能の充実を図ります。また、障害者の社会参加と自立の推進や高齢化の進展に伴い豊かな長寿社会の実現を図ります。

エーゲ海フェスティバル、牛窓花火大会、喜之助フェスティバル、バルーンフェスティバル、びぜんおさふね名刀まつりのイベントへの助成を行います。

の財源不足を補てんするため、特例的に認められる市債で、この元利償還金の全額は、普通交付税の算定の積算基礎に算入されません。

●財政再建団体

赤字額が一定規模を超えた場合に指定され、国の管理の下で財政を再建するものです。本市の場合は、赤字額が約18億を超えた場合に、財政再建団体となります。

●財政調整基金・減債基金

財政調整基金は、年度間の財源の不均衡を調整するための基金です。減債基金は、市債を計画的に償還するための基金です。

●特定目的基金

目的に沿って積み立て運用するための基金です。合併後の地域振興などのために合併特例債を活用して、まちづくり振興基金を積み立てています(積立総額19億4,400万円)。

●公的資金補償金免除繰上償還 通常の市債の繰上償還については、利子相当分を補償金として支払う必要があります。